

メディカルバレー通信

M E D I C A L V A L L E Y P R E S S

2007秋号

VOL.11

メディカルバレーの充実と鈴鹿国際大学・鈴鹿短期大学



ごあいさつ

鈴鹿国際大学学長
式部 武志

三重県のメディカルバレープロジェクトは、21世紀とともに出発しましたから、早くも6年経過したことになります。医療・健康・福祉の分野を総合的に捉えたプロジェクトですから、これが成功しますと新しい時代を象徴する画期的な仕事と言えるわけで、各方面から大きな期待が寄せられていると思います。

ところで政治・経済をはじめ人間のすべての文化は個と社会の二つの側面から成り立っていますが、分野によって重点が少しずつ異なります。例えば法とか道徳とかをとってみますと、そのテーマの本質から言って最初から「他」を含んでいます。演劇などの分野で言えば、その演劇の目的を共有した上で、参加者それぞれの個性と才能に応じた役割の配分と、その実行が主な仕事になります。これらは本来的に国や共同組織の仕事です。

それに対して医療・健康・福祉の分野はとりわけ個の側面が強いと思われま。というも、この分野の出発点は病気・障害といった、それ自体他と共有し得ない心身状況だからで、自分にとってもっとも重大な事柄が、他(たとえば医師)にとっては単なる(たとえば病気の)1事例に過ぎないという、自と他との乖離がもっとも甚だしい分野であろうと思われま。

医の歴史がおそらく人間の歴史と同じくらい古いのに、この分野が共同体の仕事として遂行されてこなかった理由はまさにその点にありますし、それ故に、この分野での総合プロジェクトの構想はまさに先進文化の担い手でなければ実現しないものだと言って良いはず。この極めて個人的な事柄を社会事象として捉える、という意識の変革はよほど文化が進まないといえないからです。

その意味でもこのプロジェクトに高等教育・研究機関が総出で立ち向かうというのは重要なこと。行政の側から言っても利用し甲斐があるはずでしょう。

鈴鹿国際大学も鈴鹿短期大学も専門分野の関係上直接メディカルな部分で参加するということではできませんが、上記のようにこれを社会事象として捉えた場合お手伝いできる部分が多々ありますし、健康・福祉の分野では短大の方も参加可能と思っています。

メディカルバレープロジェクトの一層の発展を望む次第です。

リーディング産業展みえ2007

製品・技術の展示会(三重をリードする産業などを一堂に展示する産業見本市)、セミナー・講演会、出展企業によるプレゼンテーション、商談会、三重の産業紹介コーナーなどが計画されています。メディカルバレープロジェクトでは、「三重健康福祉ビジネスサポート(KBS)」(健康・福祉分野企業の販路開拓支援)を出展するとともに「みえメディカルバレー知的財産活用・流通フェア」を同時開催します。

日時 平成19年11月9日(金) 10:00~17:00
11月10日(土) 10:00~16:00

場所 四日市ドーム
(四日市市大字羽津甲5169番地霞ヶ浦緑地内)

URL <http://www.pref.mie.jp/sangyos/moyooshi/>

お問合せ先

三重県農水商工部農水商工企画室内
リーディング産業展みえ2007実行委員会
TEL: 059-224-2512 FAX: 059-224-2521

県内企業の特許シーズ等の情報提供

特許活用商品化事例等の展示

無料特許相談会

知的財産マッチング商談コーナー

メディカルバレー知財セミナー

■ テーマ 「地域の健康素材、自然資源に
ビジネスチャンスあり」

■ 日 時 11月9日(金)
10:30~12:30

■ 場 所 第1セミナー会場
(四日市ドーム)

講師

『日経ベンチャー』
発行人兼編集長
樋口 一郎 氏

同時
開催

みえメディカルバレー

知的財産活用・流通フェア